



大雪・暴風雪などの雪害について

大雪や暴風雪など雪に関する警報や注意報が発表された時は、気象状況に注意し無理な外出は控えましょう。また、室内でも停電や一酸化炭素中毒の危険がありますので、十分な注意が必要です。

● 家の中にいる時

- ▶ FF式暖房機などの給排気口が雪でふさがれると一酸化炭素中毒を起こす危険性がありますので、定期的に点検・除雪しましょう。
- ▶ 出入口を確保するため、積雪の状況を見て除雪しましょう。
- ▶ 停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、ポータブルストーブや灯油などを準備しておきましょう。

● 外出中の時

- ▶ 視界不良(ホワイトアウト)により、自分の位置が分からなくなることがあるため、近くの商店・コンビニエンスストアなどの建物へ避難しましょう。
- ▶ 暴風による飛来物に注意しましょう。

● 除雪中の転落事故防止

- ▶ 屋根の雪下ろしは2人以上で、携帯電話やスマートフォンを携帯し、事故対策をしっかりと!
- ▶ 必ず命綱を使用し、はしごの固定を忘れずにしましょう。
- ▶ 気温が高い日は雪が解けて滑りやすいので注意しましょう。
- ▶ 除雪機の雪詰まりを直すときは必ずエンジンを切りましょう。

● 車を運転している時

- ▶ 視界不良(ホワイトアウト)になった場合は無理な運転は避け、コンビニエンスストアなどで天気の回復を待ちましょう。
- ▶ 気象情報や道路情報を確認しましょう。

● 車が立ち往生した時

- ▶ ハザードランプを点滅させたり、停止表示板を置くなどして、後続車に注意を促しましょう。
- ▶ JAFなどのロードサービス、警察・消防、近くの商店や人家に救助を求めましょう。

一酸化炭素中毒に注意!

一酸化炭素中毒の危険をなくすには、エンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。

暖房などでやむを得ずエンジンをかけるときは、マフラーが雪に覆われないよう、こまめに周辺を除雪してください。特に「吹きだまり」には注意しましょう。こまめに換気を行い、車内が暖まったらエンジンを切るようにしましょう。

停電に注意!



電線への着雪や強風、飛散物により電線が切れるなどして、停電が発生する場合があります。長期化も予想し、停電対策の備えをしておきましょう。



命綱を使用!!



エンジンOFF!!



無理をせず天気の回復を待つ!

道路情報をチェック

北海道地区 道路情報

PC版
<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/RoadInfo/index.htm>

道路の異常を発見したら
道路緊急ダイヤル

#9910
(短縮ダイヤル)

車の故障・レッカー移動は
JAFロードサービス

0570-00-8139
または **#8139**

事故や立ち往生に備えて



車に置いておく目安!